

ANTARI

HZ-500



▶ 製品の特徴

はじめに

この度は ANTARI 製ヘイズマシン HZ500 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ANTARI HZ-500 はツアーケース自体がヘイズマシンという究極の形をしておりアンタリの高い技術による安定したエフェクト効果は、レーザービームをはじめとする演出照明とベストマッチします。あらゆるステージで使いやすく、活躍するヘイズマシンです。

1. 非常に低い動作音、10cm 離れた場所で 70db 以下に抑えたローノイズ設計です。
2. ドライ・ヘイズ: 余分な霧を発生せず、非常にドライな効果です。
3. HZ-500 は細かい粒子を発生します。効果が速く発生し、長く持続します。
4. メタルネットやフィルターが、安全な状態での動作を実現します。ネットとフィルターは水洗い可能です。
5. 非常に低い液消費: 20 時間 / 1 リットル
6. フライトケース (付属) に収納したまま使用できますので、丈夫で壊れにくく、運搬が容易です。
= DMX512 標準対応

本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。またいつでも読めるところに大切に保管して下さい。

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。

警告

	●演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
	●器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。取付金具の選定を間違くと落下し、物的損害・けがの原因となります
	●器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面との距離を充分に取って、正しく取り付けてください。近すぎると、火災の原因となります。
	●器具の使用角度に制限のある器具があります。使用角度範囲を超えると、器具の破損、電球の破裂の原因となります。
	●器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取り付けてください。接触していると火災の原因となります。
	●器具の使用前および使用直後は、本体周辺を触らないでください。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
	●器具を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。
	●煙が出たり変なニオイがするなどの異常状態のままで使用しないでください。故障・破損・事故・火災・感電等の原因となります。
	●異常と思われるときにはすぐに電源プラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合、ご購入店に修理を依頼してください。

注意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。屋外で使用する、感電・火災の原因となる場合があります。
- この器具は防水、防沫使用ではありません。万が一、水やヘイズリキッドが本体内部に入った場合は、速やかに本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、販売店または正規代理店に連絡してください。
- この器具は使用中に噴出ノズルを人や動物に直接ノズルを向けることはやめてください。
- この器具は使用中にノズルから 60cm の範囲に入らないでください。
- この器具は風通しの良い場所に設置してください。また本体に搭載された空気口は塞がないでください。尚、適切な換気を得るために本体から最低 20cm 以内に物を置かないようにしてください。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。破損・変形・火災と電球の破裂の原因となる場合があります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり、落

たりして、火災・けがの原因となります。

- 可燃性の液体を本体に混入することは絶対にやめてください。
- この器具には ANTARI 社製のヘイズリキッドのみを使用してください。ANTARI 社製のヘイズリキッド以外を使用するとポンプやヒーター等の内部パーツが詰まったり、故障に繋がる恐れがあります。
- 本体を移動させる際は必ずタンク内のヘイズリキッドを空にしてください。
- 安全のため、本製品に付属された電源ケーブルのみを使用してください。
- AC100V、50/60Hz にてご使用ください。
- 故障が生じた場合はお手数ですが、必ず販売店もしくは正規代理店に連絡してください。また、無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みになって下さい。また、お読みいただいた後は大切に保管して、必要などに参照してください。
- 器具の取付・設置は正しい知識・資格を有する専門家がこなってください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練した専門家がこなってください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。
- 器具の取付・設置に方向性のある器具があります。指定外の取付は器具本体の破損や火災・けがの原因となる場合があります。
- 器具の取付時は、落下防止ワイヤーを正しく取り付けしてください。確実に取り付けないと、取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読み下さい。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要などに参照してください。
- 器具の使用前の準備は正しい知識・資格を有する専門家がこなしてください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実にこなしてください。接続が不完全な場合、接触不良による火災の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取り扱う場合は正しい知識・資格を有する専門家がこなしてください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。
- 器具の取付に方向性のある器具があります。指定外の取付は器具本体の破損や火災・けがの原因となる場合があります。
- 器具の取付時は、落下防止ワイヤーを正しく取り付けしてください。確実に取り付けないと、取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具の安全シールド（レンズ・保護網など）を取り外して使用しないでください。破裂などによる火災・やけど・けがの原因となります。
- 地震などの天災のあと、再使用前に専門家が点検をおこなってください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。

5. 保守点検について

- 器具は日常点検を実施してください。点検の結果基準をはずれている場合は、適切な処置をおこなってください。
- 器具の点検・整備は専門家がこなしてください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となる場合があります。
- 部品交換・清掃時は必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電する場合があります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果基準をはずれている場合は、

適切な処置をおこなってください。

- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果基準をはずれている場合は、適切な処置をおこなってください。
- 電源ソケット・リフレクタは日常点検し、点検の結果基準をはずれている場合は、適切な処置をおこなってください。
- 器具のネジ類は振動でゆるむ場合があります。取扱説明書に従って適切な処置をおこなってください。
- 埃や紙吹雪等が溜まったままで使用しないでください。清掃してください。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づいて処置してください。

6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい場所に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ずおこなってから使用してください。感電・火災の原因となることがあります。

7. 付属品

- 箱を開けて全ての付属品が本体に同梱されていることを確認してください。
 1. 電源ケーブル
 2. 本取扱説明書
- 以上のいずれかが同梱されていない場合は、誠にお手数ですが、販売店または正規代理店までご連絡ください。

使用上のご注意

1. 本体を使用している際は常にタンク内のヘイズリキッドの残量を確認し、タンク内が空にならないよう注意して下さい。
2. 本体を長時間使用すると吸気口にほこりが付着しますので、ドライバーを使用してネットとフィルターを取り外して、水洗いして下さい。
3. 上記の項目を実施しても、出力が低い、機械的なノイズが聞こえる、全くヘイズが出力されない等の症状が出た場合は直ちに使用を停止し、電源ケーブルを抜いて下さい。ヘイズリキッドの量、ヒューズ、電源ケーブルの接続を確認し、問題が無ければ再度電源ケーブルを接続して下さい。それでも本体が動作しない場合は本体が故障した恐れがありますので、販売店、正規代理店にお問い合わせ下さい。
4. タンク内部に埃が入り、ゴミが詰まるのを防ぐため、キャップの蓋を掃除する際には、蓋を取ってから洗浄して下さい。
5. ドアセンサーの誤動作を防ぐため、磁気を帯びた物を本体に近づけないで下さい。

DMX512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX リンク

DMX データの正確な送受信を行う為、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番と DMX のアドレス指定は相関しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

HZ500 は 1 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の液晶画面及びボタンで設定して下さい。DMX 機器との接続は 5 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

3 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。3 ピン仕様の XLR コネクターを HZ500 に接続する際は 5 ピンへの変換アダプターをお使い下さい。

ヘイズリキッド

油性のヘイズリキッドと水性のヘイズリキッドは絶対に混ぜて使用しないで下さい。

ヘイズリキッドの種類を変える場合は一旦タンクを完全に空にしてから新しいヘイズリキッドを入れて下さい。

仕様

電源：AC100V、50/60Hz

消費電力：400W

出力：84.95m3/分

タンク容量：2.5 リットル

出力時間目安：20 時間 / リットル

サイズ：37.5(W) x 35(H) x 51 (D)cm

重量：31.5Kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更となる場合がございます。

▶ 使用及びヘイズリキッドの注入について

1. 本体を平らな場所に置いて下さい。
2. ヘイズリキッドタンクの蓋を開けて、最大注入レベルを超えないよう、またリキッドをこぼさないよう、ゆっくりと本体タンクにリキッドを注入して下さい。初めて使用するときは、ヘイズリキッドを2リットル注入して下さい、注ぎ足す際には1リットルのリキッドを注入して下さい。通常、200ccのリキッドに対して10秒ほどの出力となります。
3. 専用のヘイズリキッド、もしくは販売店の推奨するヘイズリキッドのみを使用して下さい。それ以外のヘイズリキッドを使用した場合、健康に影響を及ぼ

- したり、本体が損傷する恐れがあります。また、保証の対象外となります。
4. 電源プラグをコンセントに接続して下さい。
5. ヘイズを出力する前に、フライトケース上部の四角いドアを開けて下さい。
6. 本体コントロールパネルの電源をONにして赤いインジケータが点灯するのを確認して下さい。
7. 本体側面には吸気口がついています。こちらには目詰まりを避けるために鉄製のネットとフィルターが備えつけられています。定期的にネットとフィルターを掃除して下さい。

▶ 基本操作

コントロールパネルにFunction、Time、Up、Down、Volume、Manualのボタンがあります。

1. 本体の電源をONにすると、液晶画面に「Ready to Haze」と表示されます。Volumeボタンを押すと、液晶画面に「Working」と表示されヘイズを出力します。もう一度Volumeボタンを押すと、ヘイズの出力が止まり液晶画面に「Ready to Haze」と表示されます。液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でManualボタンを押し続けると、ヘイズを出力し液晶画面に「Working」と表示されます。そしてManualボタンを離すと、ヘイズの出力が停止します。このモードの時、Timerボタンを押すとタイマーがトリガーされます。
2. 液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でFunctionボタンを押すと、液晶画面に「Interval Set」と表示されます。Up/Downボタンを使用し、1～200秒の間でタイマーモードのインターバル時間を設定して下さい。
3. 液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でFunctionボタンを2回押すと、液晶画面に「Duration Set」と表示されます。Up/Downボタンを使用し、1～200秒の間でタイマーモードのヘイズ出力継続時間を設定して下さい。
4. 液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でFunctionボタンを3回押すと、液晶画面に「DMX512」と表示されます。

Up/Downボタンを使用し、1～512の間でDMXアドレスを設定して下さい。DMXを使用すると、コントロールパネルによる制御は無効になります。

DMX制御の際は、DMX値が250以上になるとヘイズを出力し

5. 液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でFunctionボタンを4回押すと、液晶画面に「DOOR SENSOR ON」と表示されます。この状態でManualボタンを押すと、センサー機能がOFFになり、液晶画面に「DOOR SENSOR OFF」と表示されます。Volumeボタンを押すとセンサー機能をONにします。「DOOR SENSOR ON」モードの時、ドアが適切に開かないと、警告音を鳴らして液晶画面に「DOOR CLOSED」と点滅し、ドアが開くまで出力しません。「DOOR SENSOR OFF」モードの時には、上記のような動作はしません。
6. 液晶画面に「Ready To Haze」と表示された状態でFunctionボタンを5回押すと、液晶画面に「Direct Haze」と表示されます。この状態でVolumeボタンを押すとダイレクトヘイズモードとなり、電源を入れるとヘイズを出力し液晶画面がゆっくりと点滅します。Manualボタンを押すと、ダイレクトヘイズモードを解除して液晶画面の点滅が停止します。

▶ センサーキャリブレーションについて

HZ500は噴霧中に蓋が閉まると自動停止する機能が備わっています。万が一、ボタン操作を誤ってセンサーの調整がずれて噴霧できない状態になった場合、次の手順でキャリブレーションを行なってください。

1. HZ500の噴霧口の蓋をしめてください
2. 【FUNC】ボタンをピー音が鳴るまで長押ししながら電源を入れてください
3. 【SENSOR OK】と表示されたら再び【FUNC】ボタンを長押しします。ディスプレイに数字が表示されますが、マグネットセンサー位置を示す数値ですので、数値を合わせる必要はありません。
4. 【SENSOR SET】の表示から【SENSOR OK】の表示に変わったら再び【FUNC】ボタンを押して完了です。

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

アンタリ発売元：IDE コーポレーション有限公司

〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西 1-1-4